

2019年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

MS&C

株式会社 MS & Consulting

決算ハイライト①

● 前年同期比で増収増益

- ✓ 売上収益は1,959百万円（前年同期比77百万円増、同4.1%増）となりました。
- ✓ ミステリーショッピングリサーチ（以下、MSR）に付随したコンサルティング・研修（以下、コンサル）を含む国内におけるMSR事業の売上収益は1,905百万円（前年同期比89百万円増、同4.9%増）となりました。
- ✓ 営業利益は219百万円（前年同期比56百万円増、同34.4%増）となりました。

● MSRの調査数は堅調

- ✓ 国内におけるMSRの調査数は18.5万回（前年同期比3.5%増）となりました。
- ✓ 国内におけるMSRの調査店舗数は6.7万店（前年同期比7.5%増）となりました。

決算ハイライト②

● サービスチーム力診断の調査店舗数は大幅に増加

- ✓ 国内におけるサービスチーム力診断の調査数は17.6万人(前年同期比66.4%増)となりました。
- ✓ 国内におけるサービスチーム力診断の調査店舗数は14,600店(前年同期比59.2 %増)となりました。

注：MSRの調査店舗数はユニーク数、MSR及びサービスチーム力診断の調査数ならびにサービスチーム力診断の調査店舗数は延べ数となります。

● 2019年3月期通期業績予想は達成の見込み

- ✓ 2019年3月期第3四半期末時点で、通期業績予想に対する売上収益進捗率は65.6%、営業利益進捗率は36.1%となりました。ただし、国内における受注残を含めた通期業績予想に対する売上収益の充足率は84.2%となっております。
- ✓ 売上収益及び営業利益は、他の四半期と比較して第4四半期連結会計期間に高くなるという季節変動性があり、それを織り込んだ予算編成となっております。通期においても業績予想は達成の見込みです。

連結P/Lサマリー

✓ 前年同期比、増収増益

地震や豪雨による中止・後倒しが発生した上期の影響は残る一方、業務提携先であるぐるなび社との連携が伸展したことで、MSRの調査数は堅調

粗利率の高いサービスチーム力診断の調査店舗数が大幅に増加、売上収益が拡大

(百万円)

	2019年3月期 第3四半期累計 (実績)	2018年3月期 第3四半期累計 (実績)	前年同期 差異	前年同期 比	2019年3月期 連結会計年度 (予想)	予想 進捗率
売上収益	1,959	1,883	77	4.1%	2,988	65.6%
営業利益	219	163	56	34.4%	608	36.1%
税引前利益	219	162	57	34.9%	608	36.0%
当期利益	156	99	57	58.0%	404	38.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	159	104	55	52.8%	405	39.3%

連結P/Lサマリー（国内における売上収益の内訳）

- ✓ 既存顧客へのクロスセルによりサービスチーム力診断の調査店舗数が大幅に増加、加えて収益化(マネタイズ)が伸展
- ✓ 粗利率の高いサービスチーム力診断の売上収益拡大に伴い、売上総利益率が向上

(百万円)

	2019年3月期 第3四半期累計 (実績)	2018年3月期 第3四半期累計 (実績)	前年同期 差異	前年同期比
売上収益	1,939	1,874	65	3.4%
MSR事業の売上収益	1,905	1,816	89	4.9%
(内、MSR)	1,716	1,679	37	2.2%
(内、コンサルティング・研修)	189	137	52	38.4%
(内、サービスチーム力診断、カスタマーリサーチ)	61	14	48	354.5%
その他の売上収益	34	58	△ 25	-42.5%
売上総利益	703	653	50	7.7%
<売上総利益率>	36.3%	34.9%	1.4%	-
MSR調査数	18.5万回	17.9万回	0.6万回	3.5%
サービスチーム力診断調査店舗数	14,600店	9,200店	5,400店	59.2%

連結P/Lサマリー（段階利益内訳）

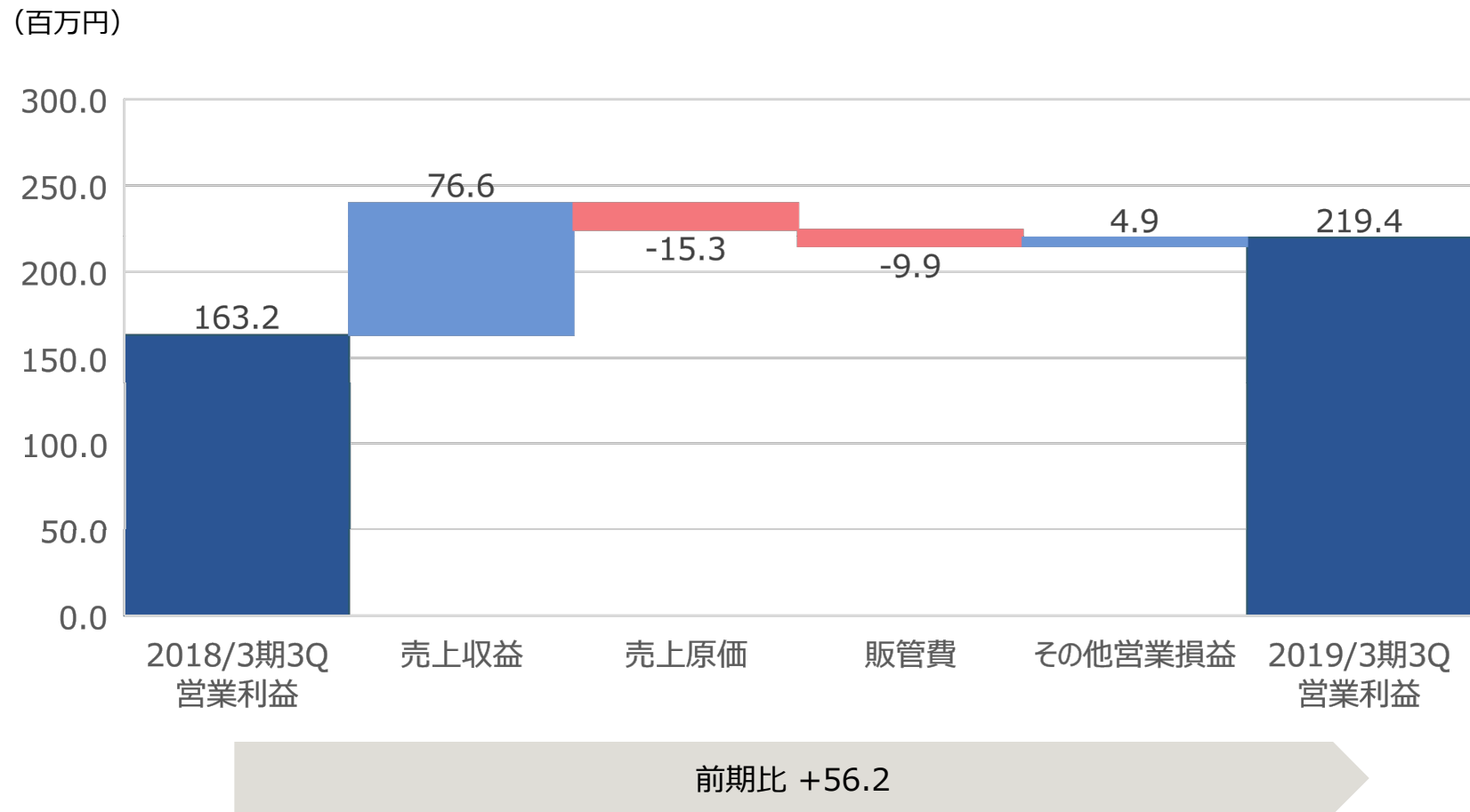
- ✓ 販管費は、旅費交通費、株主総会費用、システムセキュリティ強化費用等が増加したものの、各種コストダウンにより前年同期比2.0%増にとどまる

(百万円)

	2019年3月期 第3四半期累計 (実績)	2018年3月期 第3四半期累計 (実績)	対売上収益	前年同期比
売上収益	1,959	1,883	100.0%	4.1%
売上原価	1,245	1,229	63.5%	1.2%
売上総利益	715	653	36.5%	9.4%
販管費	502	492	25.6%	2.0%
その他の収益	8	11	0.4%	-25.5%
その他の費用	1	9	0.1%	-86.5%
営業利益	219	163	11.2%	34.4%
EBITDA	237	182	12.1%	30.2%
金融収益	0	0	0.0%	-33.5%
金融費用	1	1	0.0%	-47.1%
税引前利益	219	162	11.2%	34.9%
当期利益	156	99	8.0%	58.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	159	104	8.1%	52.8%

EBITDA=営業利益+減価償却費にて算出

連結P/Lサマリー（段階利益増減内訳）



連結B/Sサマリー

✓ 新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本剰余金が増加

資 産

	2018年3月期 連結会計年度 (2018年3月31日)	2019年3月期 第3四半期 (2018年12月31日)
現金及び現金同等物	627	541
営業債権及びその他の債権	756	706
棚卸資産	3	3
その他の流動資産	33	76
流動資産合計	1,419	1,327
有形固定資産	28	33
のれん	2,224	2,224
その他の無形資産	36	58
その他の金融資産	41	50
繰延税金資産	19	25
非流動資産合計	2,348	2,389
資産合計	3,768	3,715

負債及び資本

	2018年3月期 連結会計年度 (2018年3月31日)	2019年3月期 第3四半期 (2018年12月31日)
借入金	95	63
営業債務及びその他の債務	453	516
未払法人所得税等	118	0
引当金	7	7
その他の流動負債	25	5
流動負債合計	697	591
借入金	75	29
引当金	14	14
非流動負債合計	89	43
負債合計	786	634
資本金	570	581
資本剰余金	1,905	1,916
その他の資本の構成要素	-13	-10
利益剰余金	534	612
親会社の所有者に 帰属する持分合計	2,997	3,100
非支配持分	-15	-18
資本合計	2,982	3,082
負債及び資本合計	3,768	3,715

連結CFサマリー

- ✓ 営業活動によるキャッシュフローは、法人税等の支払を含む
- ✓ 投資活動によるキャッシュフローは、システムセキュリティ強化のための設備投資によって支出が発生
- ✓ 財務活動によるキャッシュフローは、株式の発行による収入、借入金の約定返済、配当金の支払による支出が発生

(百万円)

	2018年3月期 第3四半期累計 (実績)	2019年3月期 第3四半期累計 (実績)	前年同期 差異	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	65	70	5	8.1%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 20	△ 20	1	-3.2%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 515	△ 136	379	-73.6%
現金及び現金同等物の 四半期末残高	548	541	△ 7	-1.3%

配当の基本方針及び2019年3月期の配当予想について

● 配当の基本方針

- ✓ 当社の利益配分につきましては、株主の皆様に対する安定的かつ継続的な利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けた上で、将来の事業の発展と経営基盤の強化のための内部留保の充実と経営成績等を勘案し、IFRSベースの配当性向20%、日本基準（単体）ベースの配当性向30%を目安として、配当を実施することを基本方針としております。

● 今期の配当予想

- ✓ 2018年5月10日「2018年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表した通期の配当予想からの変更はありません。
- ✓ 2019年3月期の期末配当予想は1株当たり18.0円としております。

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。